

令和4（2022）年度

東京都事業説明資料  
青ヶ島村

令和4年5月 東京都八丈支庁

# 目 次

1	令和4（2022）年度	東京都予算の概要（一般会計）	1
2	令和4（2022）年度	八丈支庁管内 東京都機構及び主な担当業務	5
3	令和4（2022）年度	八丈支庁管内 東京都事業一覧	6
4	事業説明資料		
	(1)	八丈支庁総務課	8
	(2)	八丈支庁産業課	11
	(3)	八丈支庁土木課	13
	(4)	八丈支庁港湾課	15
	(5)	島しょ保健所八丈出張所	17
	(6)	教育庁八丈出張所	18
	(7)	島しょ農林水産総合センター八丈事業所	19
	(8)	家畜保健衛生所八丈支所	20
5	令和4（2022）年度	八丈支庁管内 事業個所一覧	21

# 1 令和4年度予算のポイント

## 予算編成方針



令和4年度予算は、

**「都政に課された使命を確実に果たし、  
次なるステージへと力強く歩みを進めることで、  
希望ある未来を切り拓いていく予算」**

と位置付け、次の点を基本に編成しました。



1

「感染症の脅威」など大きな危機を克服するとともに、誰一人取り残すことのない持続可能な都市へと進化する「サステナブル・リカバリー」を実現するため、大胆な発想で果敢に取組を進めていくこと

2

社会変革に適応した制度や仕組みへの抜本的な見直しを進めるとともに、事業の見直しを一層強化し施策の新陳代謝を促すことにより、将来にわたる財政の対応力を堅持すること

3

東京2020大会に向けて磨き上げてきた数々の取組を都市のレガシーへと発展させ、都民の豊かな生活につなげていくこと

## ◆ 令和4年度予算フレーム等の概要

### ◆ 一般会計歳出総額

**7兆8,010億円**

(前年度当初予算比 +3,760億円、+5.1%)

- 一般会計の予算規模は、持続可能な都市へと進化する「サステナブル・リカバリー」を実現する取組や、東京2020大会のレガシーを発展させる取組に重点的に予算配分したことなどにより、前年度に比べて3,760億円の増と、**過去最大**となりました。

### ◆ 一般歳出（政策的経費）

**5兆8,407億円**

(前年度当初予算比 +2,286億円、+4.1%)

- 一般歳出は、「サステナブル・リカバリー」の実現や東京2020大会のレガシーの発展に向けた取組などにより、前年度に比べて2,286億円の増と**2年連続のプラス**となりました。

### ◆ 税収

**5兆6,308億円**

(前年度当初予算比 +5,858億円、+11.6%)

- 都税収入は、企業収益の持ち直しによる法人二税の増などにより、**約5,900億円増加**し、令和元年度決算に次ぐ、**5兆6,308億円**となりました。

## 政策評価・事業評価の推進

✓ 政策評価 公表件数 **9 事業ユニット** ✓ 事業評価 公表件数 **1,368 件**  
(ユニット内事業 97 事業) 財源確保額 **1,117 億円**

- 政策評価と事業評価の一体的な実施や、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関する見直しなど、施策の新陳代謝を促進し、政策評価では**9事業ユニット**、事業評価では**1,368件**の評価結果を公表、事業評価の取組を通じて**1,117億円**の財源確保へとつなげました。
- 確保した財源の活用などにより、**568件**、**約1,900億円**の新規事業を構築しました。

財源確保額の推移



## 基金残高

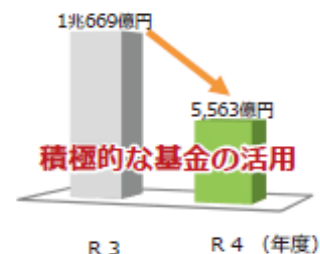
**1兆 697 億円**

(前年度最終補正後予算比  
▲4,808億円、▲31.0%)

\* 普通会計ベース

- 令和4年度予算では、社会資本等の整備や、防災まちづくり、福祉先進都市の実現に向けた施策などを着実に進めるため、**3つのシティ実現に向けた基金を積極的に活用**しました。
- 引き続き、税収動向なども見極めながら、「『**未来の東京**』戦略」で掲げる政策を着実に進めていくための財源などとして、**戦略的に基金を活用**していきます。

基金のうち、3シティ基金残高の推移

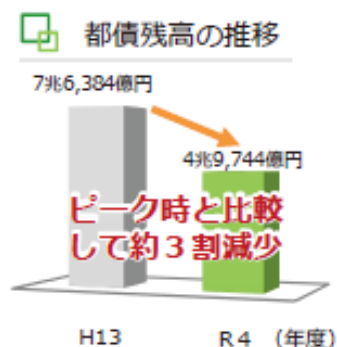


## 都債残高

4兆9,744億円

(前年度最終補正後予算比  
▲95億円、▲0.2%)

- これまで、財政再建の取組を通じて都債発行の抑制に努めるとともに、その後も、都税収入の増減に応じた都債の発行調整を行ってきました。
- 令和4年度予算では、税収増を活用し発行を抑制したことから、4年度末の都債残高は減少する見込みです。



2022

